


(様式第2号)

会派政務調査活動(行政視察)報告書 (総括)

会 派 名	だいせんの会
会派の代表者名	高橋敏英 
視察(調査)期日	平成29年11月16日(木)～18日(土)
視察(調査)先	衆議院会館 東京都荒川区役所 有楽町
視察(調査)の目的 (大仙市の現状と 選定理由等)	「衆議院会館」 御法川代議士との情報交換と陳情 「東京都荒川区」 荒川区民幸福度(GAH)の取り組みについての視察研修 ゆいの森あらかわ(図書館) 「大仙市ふるさとフェア2017」視察
視察(調査)の行程	別紙の通り
視察(調査)への 参加議員名	高橋敏英、佐藤芳雄、古谷武美、橋村誠、児玉裕一 石塚 柏、高橋徳久 (7名)
視察(調査)概要	「御法川代議士との情報交換と陳情」 「荒川区民総幸福度の取り組み」 ・区内に住んでいる人や働いている人が幸せと実感できるような 施策を行い「幸福度」の向上に努めている内容を視察した。 「ゆいの森あらかわ(図書館)」の役割について。 「大仙市ふるさとフェア2017」視察 大仙市議会も一緒に活動することで都民の皆様に市・議会・市民が 一体となって頑張っている姿を見ていただく。

<p>視察(調査)の成果と本市に反映できる事項或いは反映させたい事項について</p>	<p>「御法川代議士との情報交換と陳情」について 雄物川堤防の築堤に5年間で218億円の予算が付いた。</p> <p>「荒川区民総幸福度(GAH)への取組」について 「幸福度」を量るための6つの指標をつくり区民からアンケートを取りながら幸福を実感できる事が多くなるよう進めていることは大仙市にも取り入れることにより市民の幸福度が向上し移住定住や少子化の対策につながると思う。</p> <p>また、「幸せリーグ」と言う「住民の幸福実感向上を目指す基本自治体連合」を組織し現在全国96の自治体が加入しているそうですが大仙市に加入し取り組んでいく事が出来ればと思います。</p> <p>「ゆいの森あらかわ(図書館)」について 中央図書館、吉村昭記念文学館、ゆいの森子どもひろばの三つの機能を持った複合施設であり子どもから高齢者まで自由に食事なども可能な空間がありカフェもあるなど今までの図書館とは異なった空間であるため将来大仙市で新しい図書館を計画した場合には是非検討していきたい。</p> <p>「大仙市ふるさとフェア2017」視察 市議会としての参加をアピールすることで大仙市の意気込みが感じていただけたと思う。</p>
<p>その他(会派としての総括的意見、上記成果への今後の取り組み等)</p>	<p>幸福度についてはブータンの国民総幸福量(GNH)知られていますが荒川区の西川太郎氏が区長に就任した時に「区政は区民を幸せにするシステムである」と掲げ全国に先駆けて行ってきたとのことである。荒川区総幸福度Gross Arakawa Happiness(GAH)の指標を作成しアンケートにより改善を重ね幸福度のUPにつなげているとのことでしたので大仙市でも幸せと感ぜられる市政に向けて市当局と一緒に進めていきたいと思っています。</p>